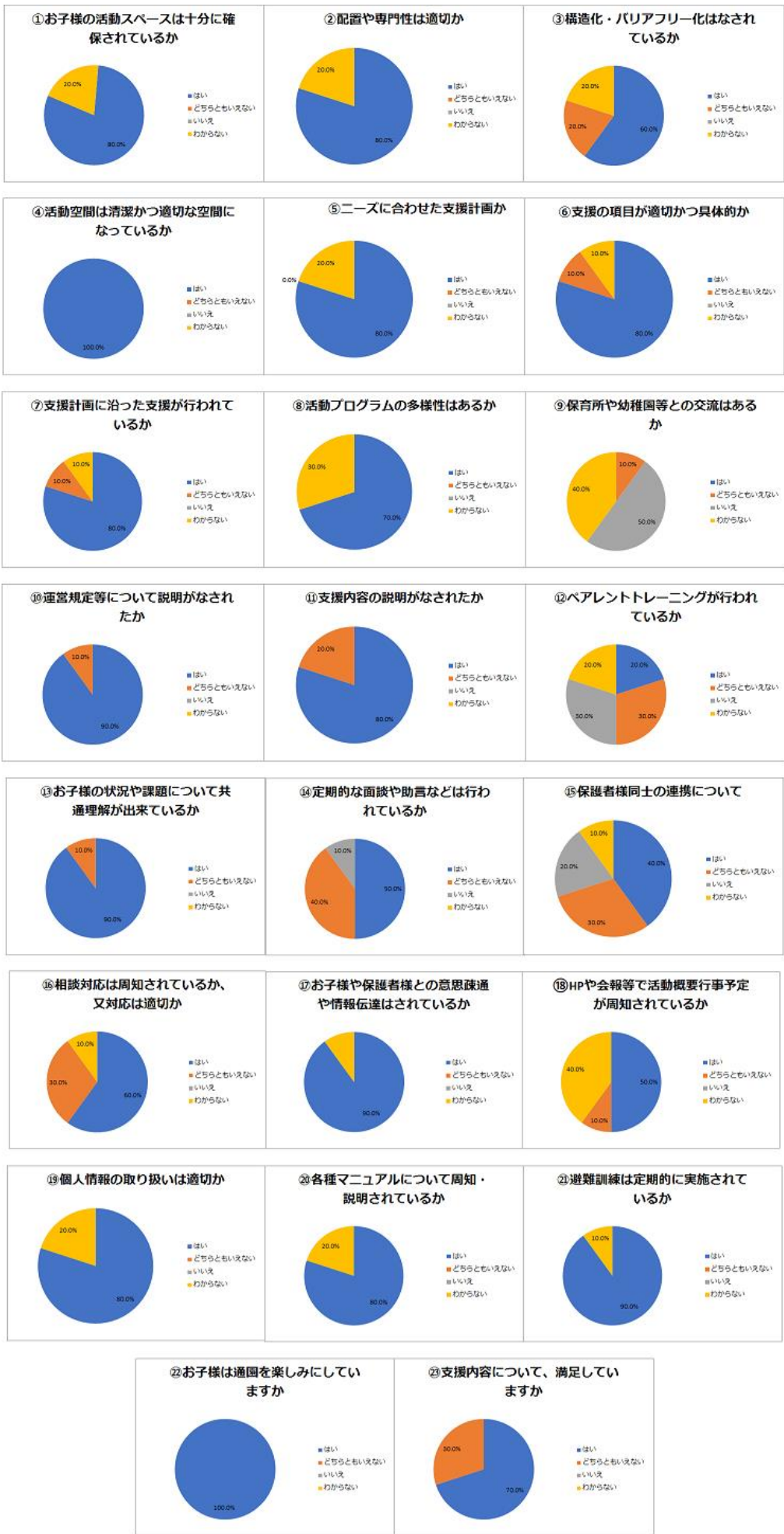
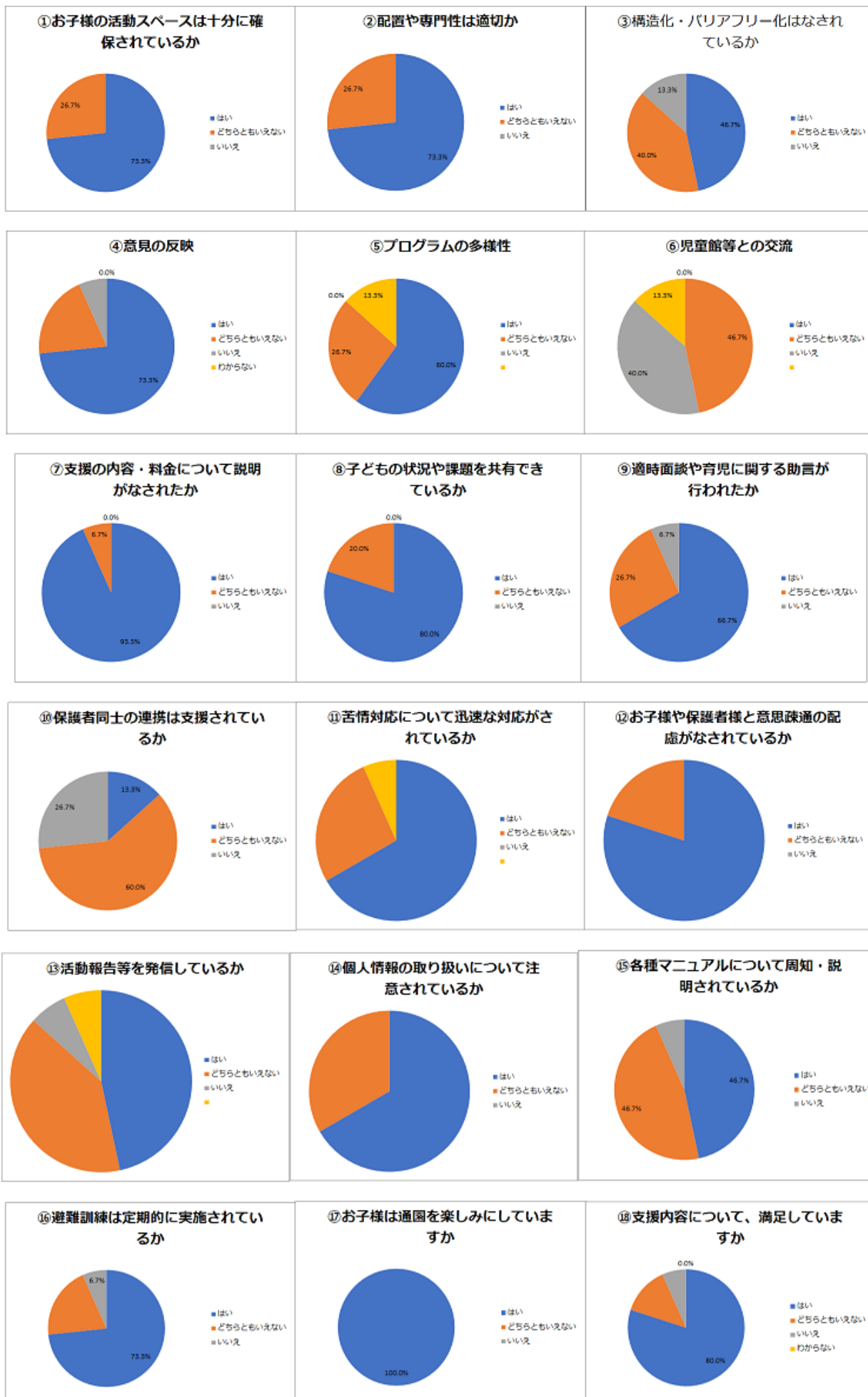
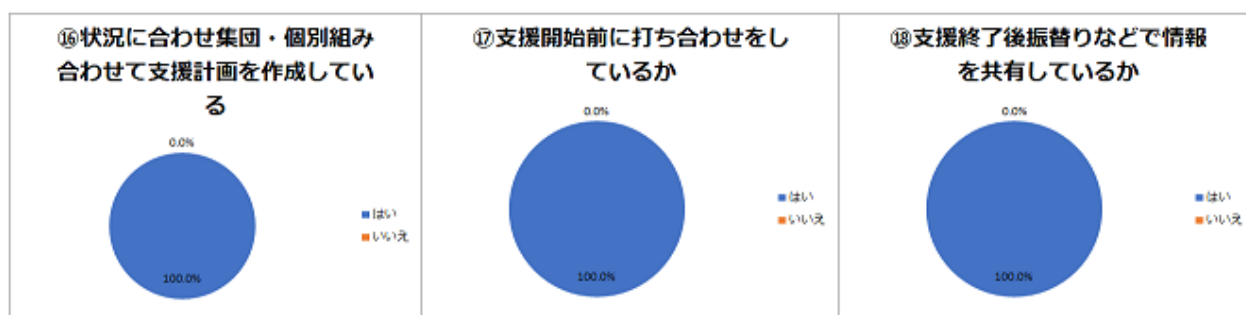
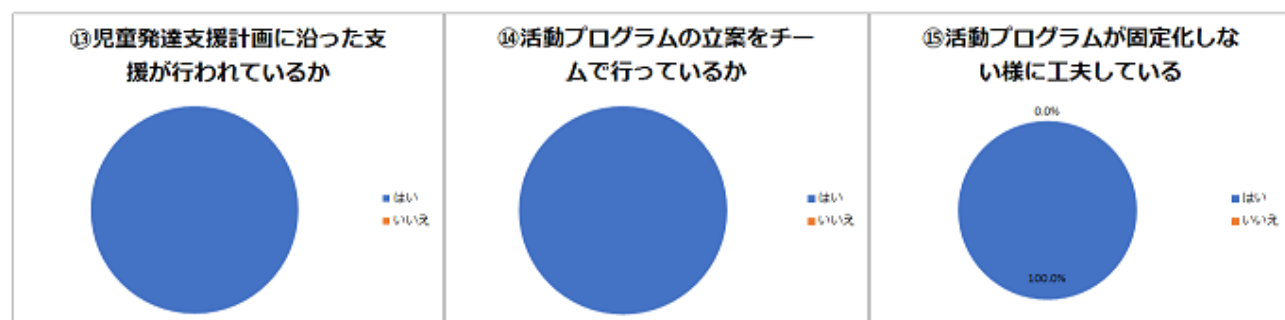
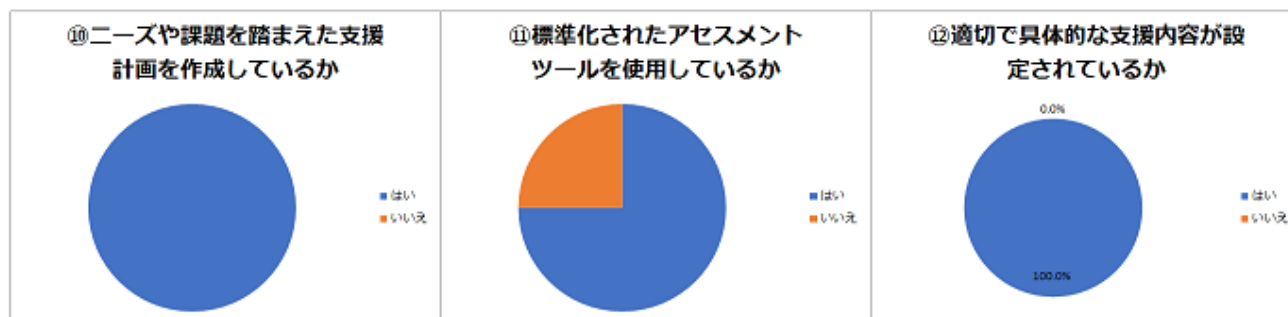
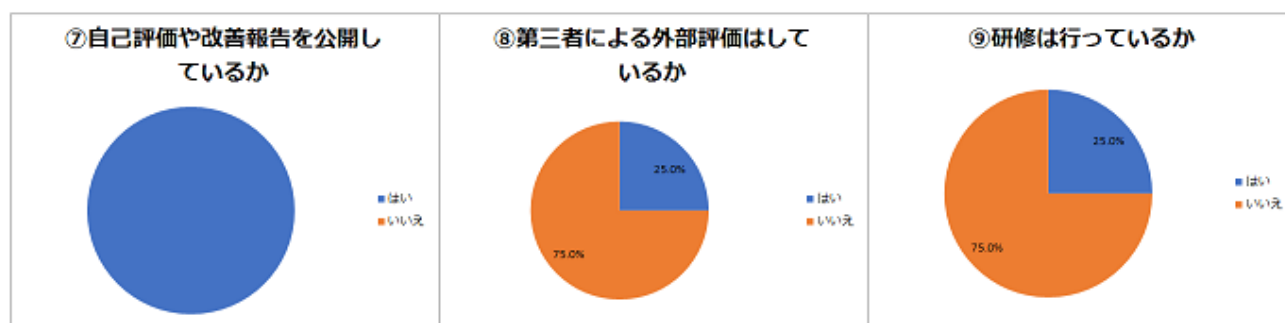
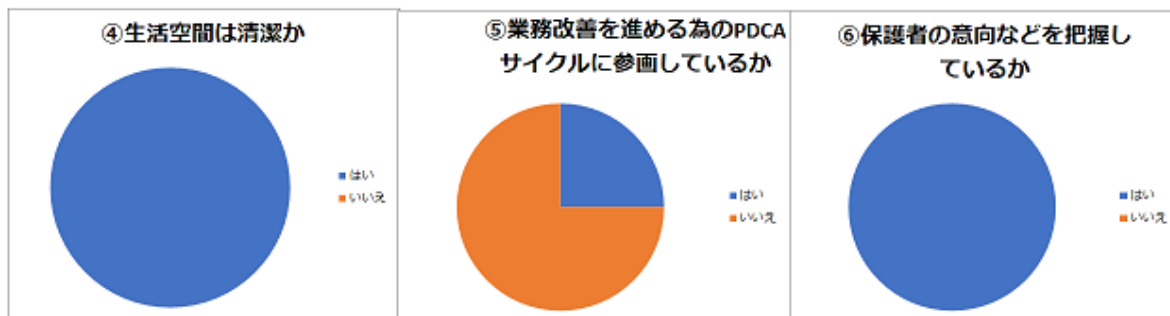
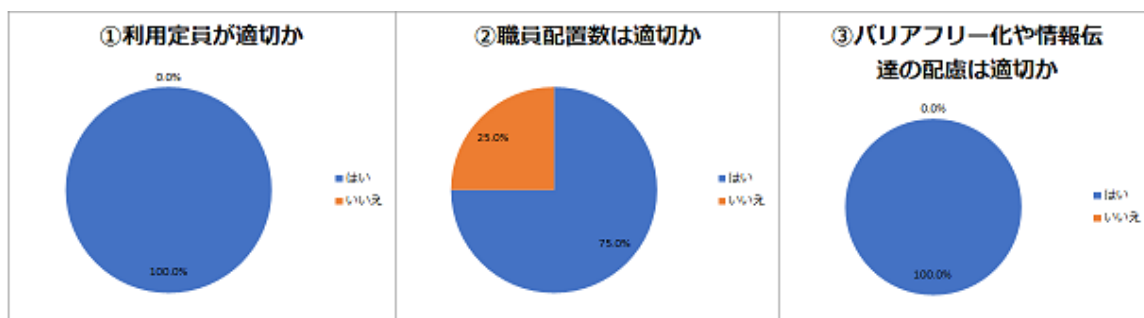


児童発達 【戸塚】

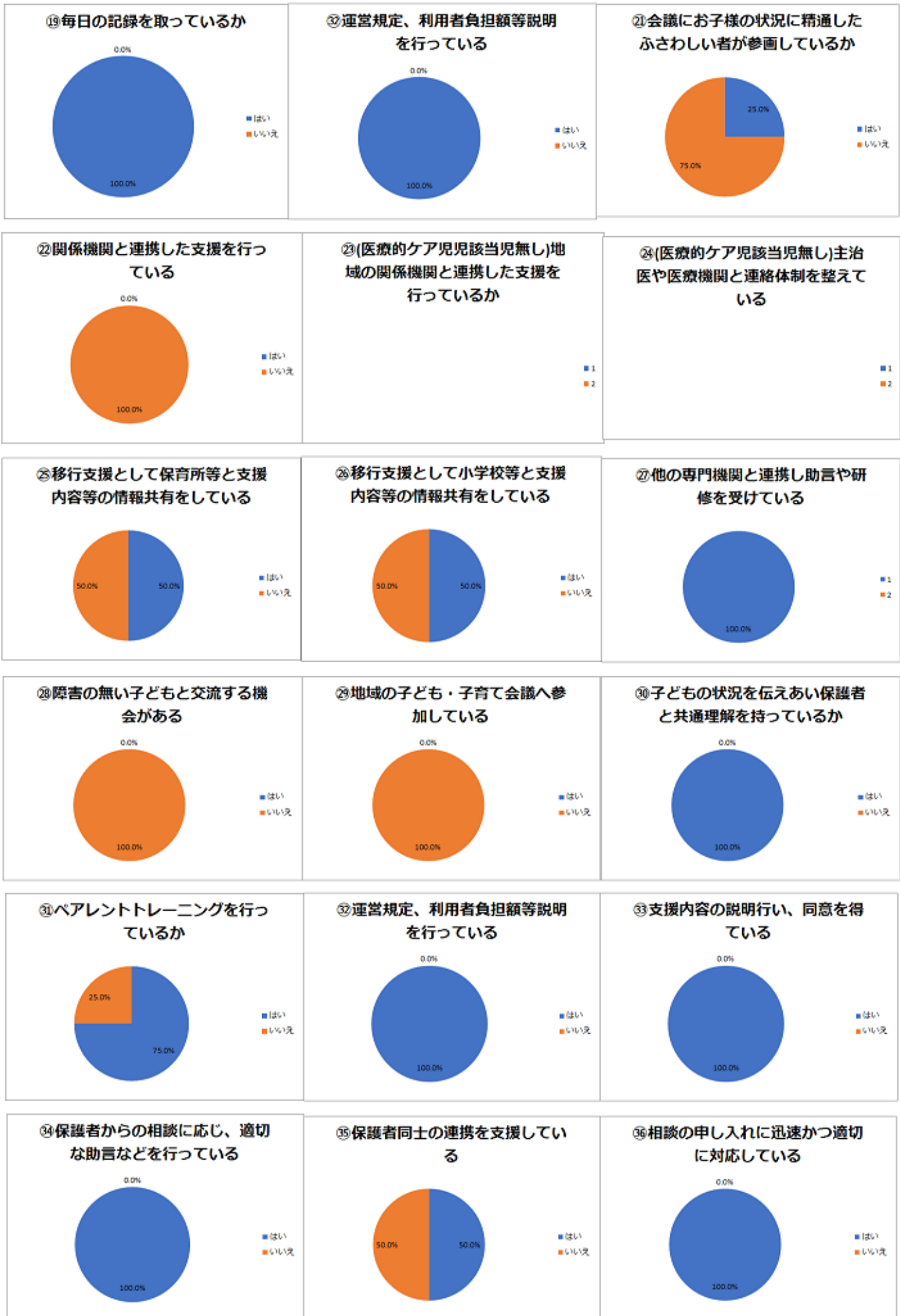




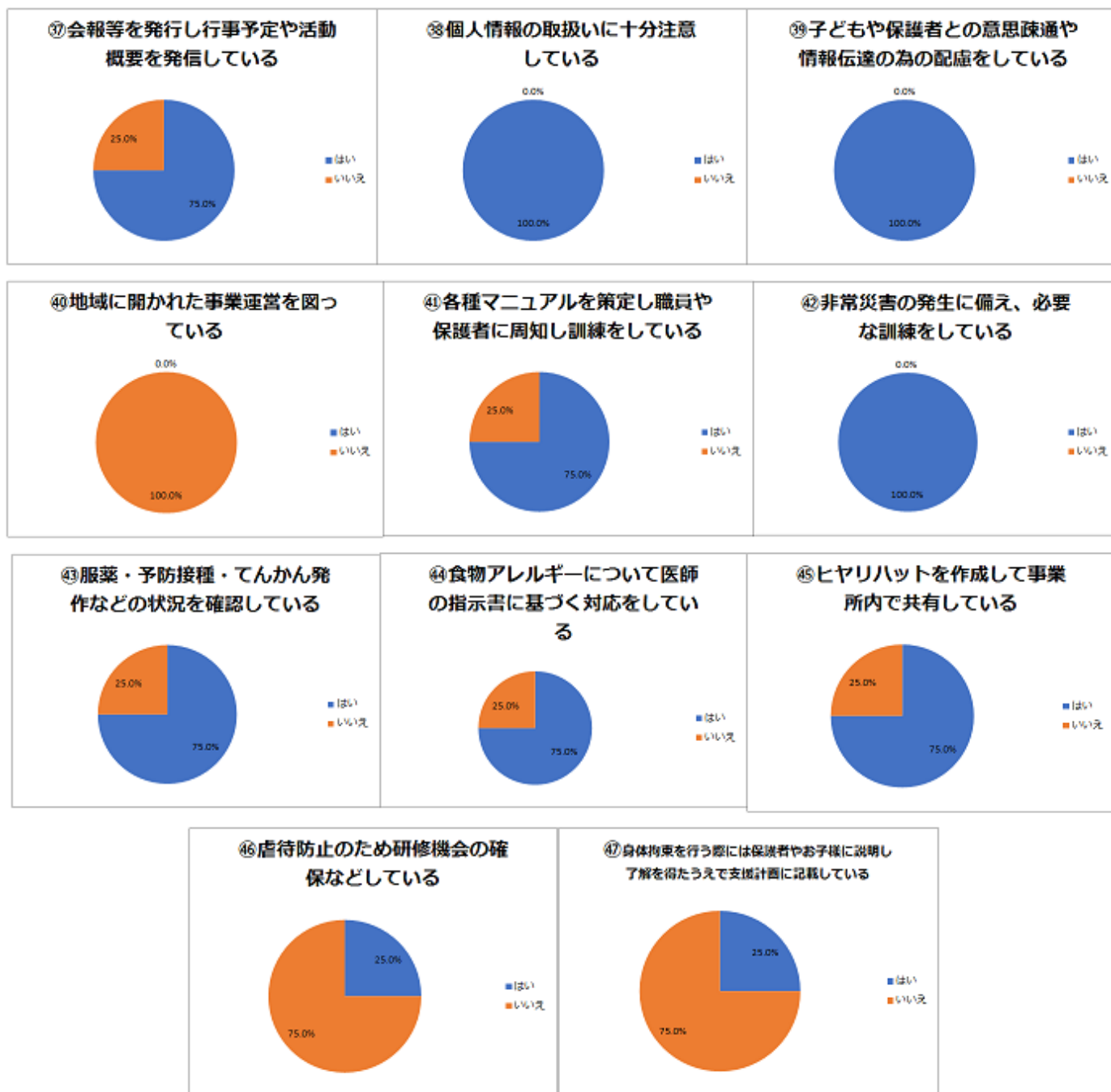
スタッフ評価① 【戸塚】



スタッフ評価② 【戸塚】



スタッフ評価③ 【戸塚】



事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・児童発達と放課後デイが壁のみで仕切られてるだけの為、療育中の声が互いに聞こえる
- ・階下の施設へ音が響き、注意を受ける事が多い

B児童への支援内容

- ・療育愛用も個別、集団と別れたことで、お子様の支援に必要な部分が明確となった。

C関係機関との連携

- ・依頼のあったところへの訪問指導は実施。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳だけでの説明ではなく、出来るだけ直接お迎えの時に対応する様に心掛けている。

E非常対応

- ・地震、火災時の避難訓練実施。
お子様の誘導方法、スタッフの役割分担、動き方の確認を行っているが、色々なパターンで

保護者による評価

A環境面

- ・新しい場所となったが三階の為上がるのが大変

B児童への支援内容

- ・療育中の様子は実際見る事が出来ない所以様子は連絡帳から知る

C事業所からの情報発信

- ・心配なこと等は出来るだけ相談し、それに対するアドバイスなどは頂けている。

D非常対応

事業所内での分析

【共通点】

- ・施設環境の難しさがある
- ・三階、音の問題など

【相違点】

- ・その時々での支援内容を職員間では情報共有し、療育に活かし、お子様にも少しずつ成長変化が見られるが、保護者の方々には実際の療育の様子を見て頂く機会がなかなか取れないため、連絡帳、口頭での伝達となる。

分析・検討してみて...

事業所の強み

- ・職員間では一人一人の子どもの様子を確認しあい、より良い療育が出来るように情報共有しお子様の姿を深く理化できるように努めている。
- ・教材研究などの準備、話し合いの場を日々とっています。
- ・職員一人一人の仕事へ取り組む姿勢、情熱はどこにも負けないところです。

事業所の改善点

- ・療育の様子を実際見学して頂く機会を持てるようにしていく

事業所の改善への取り組み

- ・年間計画の中に保護者が一緒に参加できるイベントや療育参観を位置づけて実践していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・一つ一つの項目を再確認し、見直し、振り返ることで次への課題が具体的に見えてきました。